

南八甲田高原野菜生産組合通常総会

8

働きがいも
経済成長も

南八甲田高原野菜生産組合（小林喜代勝組合長）は4月15日、葛川集会所で「第48回通常総会」を開き、組合員30人が出席しました。

総会では、栽培技術の向上と生産体制の強化を図り、今後も野菜産地として継続的に発展し、所得向上と経営安定を目指すことを承認しました。また、目標販売額8億円以上の達成や、産地の知名度を高めることを目指すスローガンを確認し、一丸となって野菜生産に取り組むことを誓いました。



あいさつをする小林組合長

水稲種子播種作業

9

産業と技術革新の
基盤をつくろう

田舎館グリーンセンターでは、毎年水稲苗の播種作業を行っています。

同地区では、生産者が春作業で忙しく、播種作業の人材確保などが難しいことから、約50年前からJAが播種作業を行い提供しています。今年は50件の申し込みがあり、まっしぐら1万2,724枚、青天の霹靂3,384枚を播種。数ミリ程度出芽した状態の苗を、JA職員が生産者のトラックに積み込みました。



水稲苗をトラックへ積み込む職員

交信かく乱剤設置講習会

9

産業と技術革新の
基盤をつくろう

板柳グリーンセンターは5月1日、板柳町と西北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室と合同で、交信攪乱剤「コンフューザーR」の設置講習会を開きました。

同剤は、ポリエチレン製チューブの中に、人工的に作られたフェロモンが入っており、食害を及ぼす害虫「モモシクイガ」の交尾を阻害する効果が期待されています。講習会では、西北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室の職員が同剤の性質や効果的な設置方法などを説明しました。



設置方法を学ぶ参加者

県知事がりんご園の雪害確認

15

後の豊かさも
守ろう

宮下宗一郎知事は4月10日、黒石地区と平賀地区のりんご園を訪れ、年末年始の大雪による被害状況を確認しました。

宮下知事は、園主の説明を受けながら、りんご園を視察し、被害を受けた木を確認。また、生産者との意見交換も行われ、生産者からは「切り株を抜くための重機リースによる支援をしてほしい」、「苗木不足をどうかしてほしい」といった要望がありました。



園主の説明を受ける宮下知事